

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0173800525 | | |
| 法人名 | 株式会社 イワクラ | | |
| 事業所名 | グループホーム ゆーあい天馬 ① | | |
| 所在地 | 新冠郡新冠町字中央町17-11 | | |
| 自己評価作成日 | 平成29年10月12日 | 評価結果市町村受理日 | 平成29年11月9日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kan=true&JigyosyoCd=0173800525-00&PrefCd=01&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 サンシャイン | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F | | |
| 訪問調査日 | 平成29年10月27日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは静かな住宅地(当社の分譲宅地)の一面に2ユニットで運営しています。近隣は新興住宅地であり新築の住宅も多く比較的若い世代も多いようで、子供の遊ぶすがたも見受けられます。当社もこの住宅地の中に賃貸マンションを所有しており、当ホームの職員も代用社宅として数名が居住しており緊急時には大変協力的な戦力となっております。この地域の中で生活を継続できるようホームの行事には、近隣の方々の参加を積極的に呼び掛けてきました。近年は沢山の参加もあり活動の成果も進んでいます。これからも気軽にホームに立ち寄って頂けることを望んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム ゆーあい天馬」は、近くに消防署や病院、小学校などがあり、JR駅や高速バス停から徒歩10分程度の新冠町の中心地に立地している。広い敷地に2ユニットの建物が独立して建ており、室内は木の温もりが感じられる家庭的で明るく開放感のある造りになっている。事業所の夏祭りやクリスマス会に多くの地域住民や自治会役員が参加したり、近隣の認定こども園の園児達と継続して交流を行うなど地域に根差した運営を行っている。施設長は町長と意見交換する機会を活かし、介護現場の現状を伝えながら行政と連携してよりよい運営ができるように取り組んでいる。また、施設長と管理者は日頃から職員とコミュニケーションを深め、意見や提案を採り入れながら働きやすい職場環境の整備に努めている。排泄面においては、使用する下着やパット類を本人と話し合いながら選ぶなど、一人ひとりの意志を尊重し尊厳のあるケアに取り組んでいる。介護計画は、毎月のカンファレンスを基に家族もモニタリングに参加し、情報交換しながら適切な計画を作成している。近隣地域への専門医の受診も事業所でも対応し、主治医と連携しながら医療支援を行っている。管理者を中心に前回の課題や自己評価に全職員で前向きに取り組むなど、日々向上心を持って温かなケアを行っている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|---|--|--|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬①) | 外部評価(事業所全体) | |
|--------------------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所としての理念を掲げており、管理者、職員はミーティング等で唱和し、日常的に意識し実践につなげている。 | グループホームが地域密着型サービスとして位置づけられた時に全職員で理念の見直しを行い、地域交流を意識した基本理念を作成している。職員採用時に説明すると共に、事業所要所に掲示して職員の意識化を図っている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会の行事や町内の芸能発表等に毎年数人の参加をしている。また当ホームの行事にもお手伝いをお願いし近隣住民の参加も頂き交流の場を積極的に設けている。 | 近隣の認定こども園の園児が年2回来訪して歌や踊りを披露したり、高校生のインターンシップの受け入れを行っている。事業所夏祭りに参加する住民も増加し、今年度は100名程来訪している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 町の地域ケア会議などに参加をし、当ホームとしての現状を説明し各事業所と連携をして地域の方々に向けての上映会を本年から後援もしている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の場では、当事業所の現状を報告して各委員の方からの様々な助言を頂き運営に取り組んで行くと共にその議事録等を全家族に送付している。 | 自治会の行事や行政から人材確保の対応などについて情報提供を受けたり、防災・緊急時マニュアルの見直しを行っている。「ゆーあい通信」で開催日時を案内し、議事録は全家族に送付しているが、家族の参加は少なくなっている。 | テーマを記載した会議案内を全家族に送付して意見を収集するなど、参加できない家族の意見も会議に活かすよう期待したい。 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 町福祉課担当者にも等事業所の現状を説明して人材不足の対応策として今年度から介護職員初任者研修を受講する町民に対して受講費用の一部を助成して頂ける事となり又町長と直接意見交換をする懇談会を設けて頂く事となり町との連携も密に成りました。 | 施設長は、利用者の100歳のお祝いで町長が来訪した時に情報交換を行い、福祉関係の懇談会の開催につなげている。管理者は、行政関係者と生活保護受給者の状況について定期的に情報交換したり、相談することもある。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ミーティング等で身体拘束について例題をあげ拘束をしない話し合いをし取り組んでいる。また玄関の施錠は夜間帯のみとしており、契約時に防犯等の理由と説明し家族に了承を頂いている。 | 「身体拘束廃止に向けて」のマニュアルを作成し、11項目の具体的な禁止行為を8項目にまとめて記載している。ベッド柵など、職員間で具体的な事例に沿って検討し、身体拘束につながらないような対応を行っている。外部研修後に報告研修を実施し、資料を回覧している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部での虐待についての研修があり、全員参加を実施し常に事業所内で利用者の虐待がないように十分な注意を払い、見過ごされる事のない様、防止に努めている。 | | |

グループホーム ゆーあい天馬

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬①) | 外部評価(事業所全体) | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 町の主催で成年後見制度について学ぶ研修があり、積極的に参加している。現在、権利擁護、日常生活自立支援事業を活用している方はいないが、今後、必要があるケースでは制度を活用できる様支援して行きます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居時契約には家族に十分な説明をし、理解を頂いている、又は利用料金等の改定時にはその目的等も説明して全家族に対して同意書を送り同意を頂いている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族等の意見や要望などは来訪された時に聞き、ミーティング等で話し合いケアプランに反映して行き毎月通信にも記載し家族に送付している。 | 毎月、各利用者の近況も記載した「ゆーあい通信」を発行している。家族の来訪時に話をして心配事や苦情を聴き取り、申し送りノートなどに記載している。今後は、家族の些細な思いや職員の気付きを個別に記録することも考えている。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員等の意見は毎月のミーティングなどで、集約して行き毎年の行事担当者を全員参加で取り組んで運営に反映させている。 | 事前にミーティングに参加できない職員の意見を聴き取り、モニタリング用紙も全職員が記入している。施設長と管理者は、日頃から職員と話しをしており、提案や要望なども柔軟に採り入れて運営やケアに反映させている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 就業環境の向上のため本年から職員に対して資格取得の研修を受講する希望者には費用を助成する支援規程を設けて職員の向上心を持てるように条件整備を行政の支援にて取組みを行っている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の育成には時間と多額の費用も投資していかなければならず課題も多いが、質の向上や職員の力量を把握し各種の研修会等への参加を高めていき、個々の努力を期待して取り組んでいる。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業各社との交流の場は各研修後の懇談会や又同業者との交流も数回行われていますので、相互理解や活動報告を通じて向上に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬①) | 外部評価(事業所全体) | |
|----------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人から聞くことが難しい事が多く家族や、利用前面談調査時に本人の様子から要望を見出すなどの工夫や、家族等に聞くなど本人が安心できる関係作りに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 利用前面談調査時にできる事、できない事を伝えると共に、家族に不安な事や困っている事を聞き希望などを尋ねたりするなど、話しやすい場面作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人と家族が、必要としているサービスを当ホームで提供が不可能となった場合は、他のサービス利用を含め他の事業所へ相談する等の対応に努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 個々の残存能力に応じて、ホーム内の家事、調理の下ごしらえ、食べ物の盛り付け、洗濯物たたみ自室の床をモップで拭く、ホーム外ではブランターの水やりや畑の収穫など職員と一緒に頑張っている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族の方には、家族交流会の行事に参加して頂いたり、来訪された時には時に職員が仲介し本人を交えて良好な関係作りができるように支援している。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 本人の馴染みの人が来訪された時は話しやすいように本人の居室でお茶を飲んで頂いています。また本人の行きたい場所があれば、ドライブや、買い物などをして知人と話をするなどをして関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 友人や趣味の仲間などが来訪して、ゆっくり居室で過ごす利用者もいる。職員と一緒に町内をドライブして自宅を見て来たり、サークルの発表会見学に出かけている。家族とお墓参りや外食をしたり、温泉に行く利用者もいる。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の関係を把握し、配席等の工夫や必要に応じ職員が仲介しに入っている。行事やレクレーション等を通して接して頂く時間を多く取り入れるように工夫している。難聴や咽頭切除により声が発せない方にも職員が仲介し利用者同士の会話のやり取りの援助に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬①) | 外部評価(事業所全体) | |
|------------------------------------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス(契約)が終わっても、家族や本人から相談があれば必要に応じ対応し支援に努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の生活の中での会話や意向の聞き取りやカンファレンスなどでの個々の情報を職員間で共有し、記録している。また動向なども観察し把握に努めている。 | 利用者に寄り添いながら、会話や表情、仕草などから思いや意向を読み取っている。把握が困難な場合は、入居後の今までの生活から変化や好みを読み取り、関連する書類に記録している。 | センター方式(B-3)シートを活用し、現在の利用者の趣味や嗜好などの変化も分かりやすくまとめるよう期待したい。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族来訪時に聞き取りを行っている。また、以前利用していたサービスに連絡を取り経過等の聞き取りをし連携も図りながら一人ひとりの生活の把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 個人記録に一人ひとりの日々の心身状態、言動、行動等、職員の気づきを記録し現状の把握に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月、カンファレンスを行い課題やケアのあり方等を話し合いをしている。また本人、家族からの意向等も取り入れた介護計画作成をしている。 | 毎月のカンファレンスを基に、4か月毎に職員と家族がモニタリングに参加して計画作成担当者が介護計画を作成している。サービス内容項目に沿って、個人記録に変化や課題を記録している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子やケアにそった内容を個人記録に記入し情報の共有やカンファレンス等で意見を交換し実践や見直しに努めている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人、家族の状況等、その時々ニーズに対応し通院、買い物など同行し柔軟な支援が出来るように努めている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の催事に観賞に出掛けてたり、ホームの行事に地域の方やボランティアの協力をして頂きより多くの方たちとの関わりが持てるように努めている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 近隣の掛かり付け医を持ち、受診し家族等の意向の相談をし医療関係者と本人、家族の仲介をし良好な関係を築く努力をしている。 | 協力医療機関や近隣地域への専門医受診など、殆ど事業所に対応している。家族と受診する時は、書面で健康状態を伝えている。受診記録は、科目別に分かりやすく個別に整理している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬①) | 外部評価(事業所全体) | |
|------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日常の体調変化、バイタルを観察し、異変が生じた場合はかかりつけの病院看護師に連絡相談し、適切な受診や治療を受けられるように支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者の入院時は情報提供、早期治療、回復退院に役立つように速やかに行い、退院については早期退院に向けて、医療関係者、家族と情報交換や相談に努め関係づくりを行っている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 現在、看取りケアは行っていないが、重度化や終末期については、かかりつけ医療関係者の説明を交え家族との話し合いを行っている。また必要性があれば地域の関連機関への相談をするなど共にチームでの支援に努めている。 | 利用開始時に、重度化対応指針に沿って事業所として可能な対応について具体的に説明している。体調変化に応じて主治医、家族と方針を話し合い、可能な限り事業所での生活が継続できるように支援している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急時に備え消防署の救急救命の講習を定期的に全職員は実施し応急手当、初期手当など実践力を身につける様努めている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署の協力を得て年2回昼夜を想定した自主避難訓練を行っている。自治会の方の協力もあり数名の近隣の方の参加があり協力体制を築いている。また町の避難訓練にも積極的に参加している。 | 自治会との協力体制を整え、役員も避難誘導しながら訓練に参加している。地震や水害などの対応マニュアルを作成し、災害備蓄品も整備している。救急救命訓練は全職員が定期的に通講している。 | 職員間で地震災害時などの具体的なケアに沿って対応を検討すると共に、居室や共用空間の危険箇所の確認を行うよう期待したい。 |

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

| | | | | | |
|----|----|---|---|---|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々の人格を尊重し、その方にあった声掛けを行っている。日々のケアにたいして個人情報保護法に基づいて支援やプライバシーの配慮に努めている。 | ミーティングで気になる言葉遣いを話し合い、言い方を変えて対応している。申し送りは事務所で行い、個人ファイルをローマ字表記にしたり、記録類も個人名が特定されないように工夫している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 常に個々の状態を観察し、声かけをし、自身の希望や思いを傾聴し自己決定が出来るように努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活や時間のペースを把握し好みのテレビ番組や散歩など本人の希望にそうように努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | これまでにやってきた事や好みを本人や家族から聞きいれ本人が自由に身だしなみや洋服選び等ができるように工夫し、要望があれば美容室等にも行くなどの支援をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬①) | 外部評価(事業所全体) | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 苦手なものや好みの食べ物を事前面談時に聞き、楽しく食事をして頂くために、苦手な食べ物に代わるものをだすなどの工夫している。職員と一緒に食材の下ごしらえや盛り付け、食器の後片付けなどを行って頂いている。 | 週1回食材を購入し、冷蔵庫内の食材を活かしてユニット毎に別メニューで提供している。節句に「鯉のぼりおにぎり」、父の日には、「ハートちらし寿司」と工夫して季節感を楽しんでいる。外食ではバイキングやレストランで好きな料理を選んでいる。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | その日の作った食事のメニュー表を見ながら栄養バランス等を考慮している。個々の不足している他の食べ物、飲み物は他のもので補い、常に把握できるように記録し支援している。町の栄養士による勉強会を当ホームにて定期的に行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 一人ひとり起床時や毎食後の口腔ケアで、義歯の洗浄や歯磨きなど見守り、時には一部介助するなど本人の能力に応じた適切な支援をしている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりの排泄の習慣や状況を記録にて把握しブライドに配慮した声かけを心がける本人出来る範囲で自立に向けた支援を行っている。 | 昼夜間とも殆どの方はトイレで排泄を行い、羞恥心に配慮して支援している。意向に沿って同性介助の時もある。利用者と下着やパット類を話し合いながら選び、心地よく過ごせるように対応している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 個々の排便関連を記録し状況を把握している。また排便を促す体操等を実施し、個々に原因となることをカンファレンス等で話し合い、食べ物や、飲み物などの工夫や予防に努めている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 一人ひとりの気分や体調(バイタルチェック)を考慮しブライドに配慮した声かけをしている。入浴日は決まっているが本人の希望があればいつでも入浴ができるように個々の希望にそうように努めている。 | 火・日曜を除き、午後の時間帯に入浴を支援し、殆どの方が湯船に浸かって楽しんでいる。浴槽内の高さ調整の台や取り外しの手摺で、安全にも工夫している。入浴を嫌がる時は無理強いせず、計画に沿って徐々に入れるように対応している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの生活習慣、睡眠状況を常に把握し睡眠が不足の場合は自室で休んで頂くよう声かけしたり、共有スペースに枕や毛布などを用意して昼寝などをして頂いている。また日中に散歩やレクリエーション等も含めた活動を心がけ気持ちよく夜間眠れる様に支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員が服薬管理をしており、医師の説明や処方箋に従い副作用、用法、用量を理解し、症状や変更があった場合は速やかに医療関係者に相談し、職員間での周知に努め必要に応じて一定期間の様子観察をするなど症状と変化の確認に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日常の中での楽しみ、職員と一緒に好きな歌番組を観る、買物に行く、畑の収穫をする、近所のイベント(歌のコーラス等)近隣の散歩やドライブ、プランターの花植え、等気分転換ができるように支援している。 | | |

グループホーム ゆーあい天馬

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬①) | 外部評価(事業所全体) | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人ひとりの希望にそい、買物に行く、畑の収穫をする、近所のイベント(歌のコーラス等)近隣の散歩やドライブ、家族の方と外出が自由にできるように支援している。またいつでも本人の希望で行きつけの美容院にいくなどの支援をしている。 | 近隣や小学校のグラウンドに沿って散歩したり、玄関先でお茶を飲みながら飼い犬と触れ合っている。静内の二十間桜並木や白鳥を見学したり、町の催しに数人で出かけている。冬季も通院やレコード館でのクリスマス会で外出している。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人、家族に事前に話し合い、説明し、ホームでお小遣いを預かり管理し、本人の希望がればいつでも出し入れできる状態にし、個々の能力に応じお金を所持したり、使えるように支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人から要望があれば、家族等に自ら連絡がいつでもできるように対応し、職員が変わりに電話をするなどし、自由に本人の希望にそように支援している。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間の不快や混乱がないようにリビング等、温度や湿度計を設置し室内の明るさなど必要に応じて調整している。また季節に応じて飾り付けを利用者の方と一緒にするなど、季節感を感じて頂くとともに楽しく居心地良く過ごせるような空間作りを工夫している。 | 居間の広さはユニットで違うが、食卓テーブルと別に団欒する場があり、天窓や居間の窓から日が入り居心地よい空間である。居間から見えない場所にトイレを配置している。壁には行事の写真や装飾のほか、利用者も参加して作ったハロウィンの作品を飾り、温かで家庭的な雰囲気になっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有スペースにはソファが配置しており中の良い入居者同士が隣り合わせに座られたり和室にはテレビがありますが昼寝をするスペースも設けており個々が自由にくつろげる事が出来るように配慮している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時に本人のなじみのある使い慣れたものなどを聞き居室に置いて頂き、家族の写真や本人の趣味のものを飾ったり居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室に造りつけのクローゼットを用意し、整理タンス、座椅子、小物入れ、テレビ、時計など馴染みの物が持ち込まれている。縫いぐるみや観葉植物を置き、好きな犬や猫の写真を飾り、その人らしい居室になっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室入り口には本人の写真や名前をつけ、トイレには分かりやすいように案内板をちけている。一人ひとりの残存能力を生かせるように出来ることやわかることを職員と一緒に頂いた後は、必ずお礼の言葉を添え自信に繋がるような声かけや工夫をしている。 | | |

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0173800525 | | |
| 法人名 | 株式会社 イワクラ | | |
| 事業所名 | グループホーム ゆーあい天馬 ② | | |
| 所在地 | 新冠郡新冠町字中央町17-11 | | |
| 自己評価作成日 | 平成29年10月12日 | 評価結果市町村受理日 | 平成29年11月9日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは静かな住宅地(当社の分譲宅地)の一面に2ユニットで運営しています。近隣は新興住宅地であり新築の住宅も多く比較的若い世代も多いようで、子供の遊ぶすがたも見受けられます。当社もこの住宅地の中に賃貸マンションを所有しており、当ホームの職員も代用社宅として数名が居住しており緊急時には大変協力的な戦力となっております。この地域の中で生活を継続できるようホームの行事には、近隣の方々の参加を積極的に呼び掛けてきました。近年は沢山の参加もあり活動の成果も進んでいます。これからも気軽にホームに立ち寄って頂けることを望んでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kani=true&JigyosyoCd=0173800525-00&PrefCd=01&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 サンシャイン | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F | | |
| 訪問調査日 | 平成29年10月27日 | | |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬②) | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所としての理念を掲げており、管理者、職員はミーティング等で唱和し、日常的に意識し実践につなげている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会の行事や町内の芸能発表等に毎年数人の参加をしている。また当ホームの行事にもお手伝いをお願いし近隣住民の参加も頂き交流の場を積極的に設けている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 町の地域ケア会議などに参加をし、当ホームとしての現状を説明し各事業所と連携をして地域の方々に向けての上映会を本年から後援もしている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の場では、当事業所の現状を報告して各委員の方からの様々な助言を頂き運営に取り組んで行くと共にその議事録等を全家族に送付もしている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 町福祉課担当者にも等事業所の現状を説明して人材不足の対応策として今年度から介護職員初任者研修を受講する町民に対して受講費用の一部を助成して頂ける事となり又町長と直接意見交換をする懇談会を設けて頂く事となり町との連携も密に成りました。 | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ミーティング等で身体拘束について例題をあげ拘束をしない話し合いをし取り組んでいる。また玄関の施錠は夜間帯のみとしており、契約時に防犯等の理由と説明し家族に了承を頂いている。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部での虐待についての研修があり、全員参加を実施し常に事業所内で利用者の虐待がないように十分な注意を払い、見過ごされる事のない様、防止に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬②) | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 町の主催で成年後見制度について学ぶ研修があり、積極的に参加している。現在、権利擁護、日常生活自立支援事業を活用している方はいないが、今後、必要があるケースでは制度を活用できる様支援して行きます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居時契約には家族に十分な説明をし、理解を頂いている、又は利用料金等の改定時にはその目的等も説明して全家族に対して同意書を送り同意を頂いている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族等の意見や要望などは来訪された時に聞き、ミーティング等で話し合いケアプランに反映して行き毎月通信にも記載し家族に送付している。 | | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員等の意見は毎月のミーティングなどで、集約して行き毎年の行事担当者を全員参加で取り組んで運営に反映させている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 就業環境の向上のため本年から職員に対して資格取得の研修を受講する希望者には費用を助成する支援規程を設けて職員の向上心を持てるように条件整備を行政の支援にて取組みを行っている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の育成には時間と多額の費用も投資していかなければならず課題も多いが、質の向上や職員の力量を把握し各種の研修会等への参加を高めていき、個々の努力を期待して取り組んでいる。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業各社との交流の場は各研修後の懇談会や又同業者との交流も数回行われていますので、相互理解や活動報告を通じて向上に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬②) | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人から聞くことが難しい事が多く家族や、利用前面談調査時に本人の様子から要望を見出すなどの工夫や、家族等に聞くなど本人が安心できる関係作りに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 利用前面談調査時にできる事、できない事を伝えると共に、家族に不安な事や困っている事を聞き希望などを尋ねたりするなど、話しやすい場面作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人と家族が、必要としているサービスを当ホームで提供が不可能となった場合は、他のサービス利用を含め他の事業所へ相談する等の対応に努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 個々の残存能力に応じて、ホーム内の家事、調理の下ごしらえ、食べ物の盛り付け、洗濯物たたみ自室の床をモップで拭く、ホーム外ではプランターの水やりや畑の収穫など職員と一緒に頂いている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族の方には、家族交流会の行事に参加して頂いたり、来訪された時には時に職員が仲介し本人を交えて良好な関係作りができるように支援している。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 本人の馴染みの人が来訪された時は話しやすいように本人の居室でお茶を飲んで頂いています。また本人の行きたい場所があれば、ドライブや、買い物などをして知人と話をするなどをして関係が途切れないよう、支援に努めている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の関係を把握し、配席等の工夫や必要に応じ職員が仲介に入入っている。行事やレクレーション等を通して接して頂く時間を多く取り入れるように工夫している。難聴や咽頭切除により声が発せない方にも職員が仲介し利用者同士の会話のやり取りの援助に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬②) | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス(契約)が終わっても、家族や本人から相談があれば必要に応じ対応し支援に努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の生活の中での会話や意向の聞き取りやカンファレンスなどでの個々の情報を職員間で共有し、記録している。また動向なども観察し把握に努めている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族来訪時に聞き取りを行っている。また、以前利用していたサービスに連絡を取り経過等の聞き取りをし連携も図りながら一人ひとりの生活の把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 個人記録に一人ひとりの日々の心身状態、言動、行動等、職員の気づきを記録し現状の把握に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月、カンファレンスを行い課題やケアのあり方等を話し合いをしている。また本人、家族からの意向等も取り入れた介護計画作成をしている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子やケアにそった内容を個人記録に記入し情報の共有やカンファレンス等で意見を交換し実践や見直しに努めている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人、家族の状況等、その時々ニーズに対応し通院、買い物など同行し柔軟な支援が出来るように努めている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の催事に観賞に出掛けてたり、ホームの行事に地域の方やボランティアの協力をして頂きより多くの方たちとの関わりが持てるように努めている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 近隣の掛かり付け医を持ち、受診し家族等の意向の相談をし医療関係者と本人、家族の仲介をし良好な関係を築く努力をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬②) | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日常の体調変化、バイタルを観察し、異変が生じた場合はかかりつけの病院看護師に連絡相談し、適切な受診や治療を受けられるように支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者の入院時は情報提供、早期治療、回復退院に役立つように速やかに行い、退院については早期退院に向けて、医療関係者、家族と情報交換や相談に努め関係づくりを行っている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 現在、看取りケアは行っていないが、重度化や終末期については、かかりつけ医療関係者の説明を交え家族との話し合いを行っている。また必要性があれば地域の関連機関への相談をするなど共にチームでの支援に努めている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急時に備え消防署の救急救命の講習を定期的に全職員は実施し応急手当、初期手当など実践力を身につける様努めている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署の協力を得て年2回昼夜を想定した自主避難訓練を行っている。自治会の方の協力もあり数名の近隣の方の参加があり協力体制を築いている。また町の避難訓練にも積極的に参加している。 | | |

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々の人格を尊重し、その方にあった声掛けを行っている。日々のケアにたいして個人情報保護法に基づいて支援やプライバシーの配慮に努めている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 常に個々の状態を観察し、声かけをし、自身の希望や思いを傾聴し自己決定が出来るように努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活や時間のペースを把握し好みのテレビ番組や散歩など本人の希望にそうように努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | これまでに行ってきた事や好みを本人や家族から聞きいれ本人が自由に身だしなみや洋服選び等ができるように工夫し、要望があれば美容室等にも行くなどの支援をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬②) | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 苦手なものや好みの食べ物を事前面談時に聞き、楽しく食事をして頂くために、苦手な食べ物に代わるものをだすなどの工夫している。職員と一緒に食材の下ごしらえや盛り付け、食器の後片付けなどを行って頂いている。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | その日の作った食事のメニュー表を見ながら栄養バランス等を考慮している。個々の不足している他の食べ物、飲み物は他のもので補い、常に把握できるように記録し支援している。町の栄養士による勉強会を当ホームにて定期的に行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 一人ひとり起床時や毎食後の口腔ケアで、義歯の洗浄や歯磨きなど見守り、時には一部介助するなど本人の能力に応じた適切な支援をしている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりの排泄の習慣や状況を記録にて把握しプライドに配慮した声かけを心がける本人出来る範囲で自立に向けた支援を行っている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 個々の排便関連を記録し状況を把握している。また排便を促す体操等を実施し、個々に原因となることをカンファレンス等で話し合い、食べ物や飲み物などの工夫や予防に努めている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 一人ひとりの気分や体調(バイタルチェック)を考慮しプライドに配慮した声かけをしている。入浴日は決まっているが本人の希望があればいつでも入浴が出来るように個々の希望にそうように努めている。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの生活習慣、睡眠状況を常に把握し睡眠が不足の場合は自室で休んで頂くよう声かけしたり、共有スペースに枕や毛布などを用意して昼寝などをして頂いている。また日中に散歩やレクリエーション等も含めた活動を心がけ気持ちよく夜間眠れる様に支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員が服薬管理をしており、医師の説明や処方箋に従い副作用、用法、用量を理解し、症状や変更があった場合は速やかに医療関係者に相談し、職員間での周知に努め必要に応じて一定期間の様子観察をするなど症状と変化の確認に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日常の中での楽しみ、職員と一緒に好きな歌番組を観る、買物に行く、畑の収穫をする、近所のイベント(歌のコーラス等)近隣の散歩やドライブ、プランターの花植え、等気分転換ができるように支援している。 | | |

グループホーム ゆーあい天馬

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価(ゆーあい天馬②) | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人ひとりの希望にそい、買物に行く、畑の収穫をする、近所のイベント(歌のコーラス等)近隣の散歩やドライブ、家族の方と外出が自由にできるように支援している。またいつでも本人の希望で行きつけの美容院に行くなどの支援をしている。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人、家族に事前に話し合い、説明し、ホームでお小遣いを預かり管理し、本人の希望がればいつでも出し入れできる状態にし、個々の能力に応じお金を所持したり、使えるように支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人から要望があれば、家族等に自ら連絡がいつでもできるように対応し、職員が変わりに電話をするなどし、自由に本人の希望にそように支援している。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間の不快や混乱がないようにリビング等、温度や湿度計を設置し室内の明るさなど必要に応じて調整している。また季節に応じて飾り付けを利用者の方と一緒にするなど、季節感を感じて頂くとともに楽しく居心地良く過ごせるような空間作りを工夫している。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有スペースにはソファが配置しており中の良い入居者同士が隣り合わせに座られたり和室にはテレビがありますが昼寝をするスペースも設けており個々が自由にくつろげる事が出来るように配慮している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時に本人のなじみのある使い慣れたものなどを聞き居室に置いて頂き、家族の写真や本人の趣味のものを飾ったり居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室入り口には本人の写真や名前をつけ、トイレには分かりやすいように案内板をちけている。一人ひとりの残存能力を生かせるように出来ることやわかることを職員と一緒に頂いた後は、必ずお礼の言葉を添え自信に繋がるような声かけや工夫をしている。 | | |

目標達成計画

事業所名 グループホーム ゆーあい天馬

作成日：平成 29年 11月 4日

市町村受理日：平成 29年 11月 9日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|--|---|------------|
| 1 | 4 | ・運営推進会議の議事録等を家族に送付しているが参加が少なく、直接の意見などを聞く場が少ない。 | ・運営において家族の意見を反映に繋げていくため出来るだけ自由に意見が話せる機会を増やし収集に努める。 | ・運営推進会議の内容を開催日毎にテーマを決め、年間を通しての計画書を作成し家族に送付する。 ・行事、面会来訪時に日常的な会話などから意見や、希望等が話しやすいように工夫する等の、職員全体で意識し収集出来るように努める。 | 12か月 |
| 2 | 23 | ・利用者の暮らし方の希望や生活環境、利用の経過等を把握し関連する書類に記録をしているが、分かりやすくまとまっていない。 | ・利用者の生活状況など情報としての記録の整備をし、ツールなどを利用し分かりやすくする。 ・より本人の意向に沿ったケアプランに役立てるように努める。 | ・センター方式シートの活用の見直しを検討しミーティングなどで話し合い利用者をとらえる上で役立つと考えられるシート(B-3)の活用をし、現在の趣味や嗜好の変化を分かりやすくまとめる。 ・ケアプランに一つでも多く役立てるように実践していく。 | 12か月 |
| 3 | 35 | ・火災、水害、地震やその他災害対策のマニュアルを見直し作成しているが、具体的なケアに添った対応が明確になっていない。 | ・日常生活(トイレ、入浴中等)に添った介助中において具体的な対応を検討し、具体的に明確な対策マニュアルの作成をする。 | ・他の施設や機関などの災害対策の情報収集し、災害対策マニュアルの具体的、明確化を図りマニュアルを作成する。 ・自主避難訓練などにも例題を取り上げ実践し、共用空間などの危険箇所や改善点などの見直しをし災害対策に役立てる。 | 12か月 |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。